

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和5年度の取組	構成員	連携団体	取組実績	進捗状況	今後の取組方針
諏訪湖環境研究センター（仮称）の設置の検討		「諏訪湖環境研究センター（仮称）整備事業	水大気環境課		・諏訪湖環境研究センター（仮称）設置場所である長野県男女共同参画センターの改修工事を実施する。	A	令和6年4月開所 水質と生態系の一体的な調査研究及び情報発信や環境学習の推進
調査研究の推進	①諏訪湖の底質、貧酸素発生状況の把握及び貧酸素の改善手法に関すること	漁場環境水質調査	水産試験場諏訪支場		・湖心：月1回 ・他4地点：週1回（5月～9月）	A	引き続き実施
		貧酸素調査	環境保全研究所	信州大学理学部附属 諏訪臨湖実験所	・湖内連続測定7地点（7月～12月）	B	引き続き調査を実施する。
		底質調査	環境保全研究所	信州大学理学部附属 諏訪臨湖実験所	・底質酸素消費量等 湖内 5～7 地点（5月、6月、8月）	B	引き続き調査を実施する。
		プランクトン調査	松本保健福祉事務所検査課		・植物プランクトン1地点（湖心） 月1回	B	
			水産試験場諏訪支場		・動物プランクトン1地点（湖心） 月1回	B	引き続き実施
	②貧酸素水塊の挙動に関すること	貧酸素調査（再掲）	環境保全研究所	信州大学理学部附属 諏訪臨湖実験所	・湖内連続測定8地点（6月～12月）	B	引き続き調査を実施する。
	③ヒシ除去場所及び覆砂場所における水質浄化効果と生態系に及ぼす影響に関すること	覆砂場所モニタリング	環境保全研究所		・水質4地点（7月、8月、10月） ・底質4地点（6-7月、10月）	B	引き続きモニタリングを実施する。
		水質モニタリング	諏訪建設事務所		・下諏訪町高浜沖他（7月～10月 月1回）	B	引き続きモニタリングを実施する。
		覆砂場所生物モニタリング（シジミ）	水産試験場諏訪支場		・自然繁殖したシジミの生息調査： 6 地点（5月、8月、11月）	A	引き続き実施
		底生生物・魚の定性調査	水産試験場諏訪支場		・底生生物・魚種別の個体数： 6 地点（6月、8月、10月）	A	引き続き実施
	④沈水植物の分布状況、水生植物の適正管理など植生に関すること	水生植物分布調査	水産試験場諏訪支場		・ヒシ及び水生植物の分布 全湖岸水域（7～8月 年1回）	A	引き続き実施
		湖辺植生調査（沈水植物、抽水植物等）	諏訪建設事務所		・Cゾーン（R3水辺整備箇所）年3回（春、夏、秋）	B	引き続き調査を実施する。
		湖辺植生調査（抽水植物等）	環境保全研究所		・抽水植物帯の動植物調査（年5回・6～10月） ・ドローンによる空撮	B	引き続き調査を実施する
	⑤水質や関係データの解析、汚濁負荷物質の収支など汚濁負荷のメカニズムに関すること	水質常時監視	松本保健福祉事務所検査課		・湖内環境基準点3地点及び釜口水門 月1回	B	
		水質常時監視（流入4河川）	水大気環境課 諏訪湖クラブ		・上川、宮川、砥川、横河川 6 地点（月1回）〔外部委託〕 ・諏訪湖流入河川、天竜川で計30地点（全国一斉水質調査、6月5日）	B	継続監視
		水浴場水質調査	松本保健福祉事務所検査課		・湖内環境基準点3地点 年2回（5月、8月）	A	
	⑥諏訪湖に流入する河川の水量、諏訪湖への地下水流入の状況など水の流れに関すること	流入河川水量等調査	環境保全研究所 諏訪地域振興局環境課		・塚間川、承知川（～3月）	B	引き続き調査を実施する。
	⑦流出水対策地区における汚濁負荷の低減に関すること	(H29～R1年度に実施済)					

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和5年度の取組	構成員	連携団体	取組実績	進捗状況	今後の取組方針
調査研究の推進	⑧多様な魚類の生息環境を形成するための技術に関すること	魚群探知機による資源量調査	水産試験場諏訪支場		・ワカサギ資源尾数推定 湖内全域（5～11月 月1回）	A	引き続き実施
		稚魚ネットによるワカサギふ化仔魚調査	水産試験場諏訪支場		・湖心1地点（4～6月 9回）	A	引き続き実施
		漁獲量等調査	水産試験場諏訪支場	諏訪湖漁協	・湖内全域（毎月）	B	引き続き実施
	⑨マイクロプラスチックの存在実態把握に関すること	諏訪湖まるまるゴミ調査 令和5年度 諏訪湖水域での調査予定なし（「目標・実施内容等」に記載のとおり）	ビジョン推進会議構成員 他 環境保全研究所		（ビジョン推進会議構成員 他） ・第4回諏訪湖まるまるゴミ調査 9/9 （環境保全研究所） ・令和5、6年度の2ヶ年で、土地利用の異なる地域での存在実態を比較する調査を計画。令和5年度は諏訪湖水域以外の河川（千曲川）で調査を実施。（令和6年度に諏訪湖水域の河川で調査を行う予定）	（構成員） A （環境研） B	（ビジョン推進会議構成員 他） ・引き続きごみの無い諏訪湖WGの取組を継続する。 （環境保全研究所） 令和6年度に諏訪湖流入河川2地点、流出河川1地点で、水位が安定している平常時（季節ごと）と出水時（春秋）に調査を行う。
	⑩有害化学物質の環境残留実態と生態系への影響に関すること	環境残留実態調査	環境保全研究所		・調査方法、分析方法の検討、予備調査(9月)	B	環境中の残留実態を調査する。
	⑪諏訪湖の水質・生態系への気候変動の影響と適応策に関すること	気候変動による災害地支援 定点撮影カメラによるヒシ等の分布および結氷状況のモニタリング調査	和限 環境保全研究所	国立環境研究所 信州大学理学部 附属臨湖実験所	（和限） ・炭素保全による温室効果ガス削減、災害地の再生として、水草堆肥、炭利用 （環境保全研究所） ・観測地点6箇所：湖面全域（日中2時間おきに画像を取得）	 （環境研） B	（和限） 災害地の表土づくり、植林を始め、水草堆肥、炭、苗の協力依頼があれば、協力を行っていく。 （環境保全研究所） 引き続き6箇所の定点撮影カメラによる撮影を継続する。
	⑫その他	カモ類（魚食性鳥類を含む）生息個体数調査	諏訪地域振興局林務課		・6月、10月、1月に諏訪湖及び主な流入河川、天竜川で調査を実施した。	C	引き続き年3回の調査を継続し、個体数の推移を確認していく。
		諏訪湖における環境基準点設定検討業務（効果的にヒシの繁茂を抑制する方法の検討）	水大気環境課		・試験区を設定し、ヒシの効果的な刈取り手法を検証（5月～9月） ・ヒシ繁茂帯での底層溶存酸素量への影響調査	B	次年度は試験区の事後調査を行い、底層溶存酸素量の環境基準点の設定に向けた検討を行う。
		諏訪湖カワアイサ対策生態調査	諏訪地域振興局林務課、水産試験場諏訪支場、諏訪湖漁業協同組合		・カワアイサの生態調査を実施した。	C	調査結果を対策に反映させていく。
		指標水生動物(カ、サナエ)の保全に向けた啓発	諏訪地域振興局環境課		・流入河川の成虫調査3回（8～9月） ・諏訪湖岸の羽化殻調査3回（7～8月） ・保全手法検討会議を1月に開催 ・小中学校におけるカ、サナエの解説(7、11月)	A	引き続きモニタリングを実施するとともに、啓発を行う。